【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2001-236224(P2001-236224A)
【公開日】平成13年8月31日(2001.8.31)
【出願番号】特願2001-41819(P2001-41819)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　9/38
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　9/38　３３０Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月6日(2005.1.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　考え得る分岐を有する命令を含むコンピュータシステムにおいて分岐予測テーブル汚染を低減するための方法であって、
　分岐予測構造を利用して分岐についての分岐ターゲットアドレスを予測するステップと、
　分岐を処理するステップと、
　実際の分岐ターゲットアドレスを計算するステップと、
　前記予測された分岐ターゲットアドレスのビットと、前記分岐予測構造に格納されていない前記実際の分岐ターゲットアドレスのビットとを比較するステップと、
　特定の命令と共に流れる比較ビットを該命令を用いて設定するステップと、
　前記比較の結果が一致する場合に、前記実際の分岐アドレスの一部を前記分岐予測構造に格納するステップと、
からなる方法。
【請求項２】
　考え得る分岐を有する命令を含むコンピュータシステムにおいて分岐予測テーブル汚染を低減するための装置であって、
　分岐ターゲットを予測する分岐ターゲットバッファ（ＢＴＢ）と、
　前記ＢＴＢに接続された分岐アドレスコンパレータ（ＢＡＣ）とを備え、
　該ＢＡＣが、前記分岐ターゲットを計算し、及び比較ビットを設定し、前記計算が、分岐ターゲットアドレスの実装されていないビットと実際の分岐ターゲットアドレス内の対応するビットとが一致するか否か比較し、前記比較ビットが命令に設定されて該命令と共に流れ、前記一致が生じた場合に、前記ＢＡＣが、前記分岐ターゲットアドレスの一部を前記ＢＴＢに書き込まれるよう割り当てることを特徴とする装置。
【請求項３】
　前記ＢＡＣが分岐導出テーブルを備え、この分岐導出テーブルが、
　分岐ターゲットアドレス情報と、
　比較結果を示す比較ビットとを含む、請求項２に記載の装置。